

西浦和駅周辺まちづくりビジョン(協議会案)作成の経緯

西浦和駅東西地区まちづくり協議会は平成28年3月に、地元の課題をいかに解決すべきかを検討していくために、自治会、商店会、NPO、有志、地元議員などが立ち上げたまちづくり検討会が中心となり設立した組織です。

西浦和駅周辺には、土地区画整理事業区域として都市計画決定されながら、長期にわたり事業化が出来なかった区域があります。そのため、道路や公園、生活基盤が一部未整備のまま市街化が進行しています。

西浦和駅東西地区まちづくり協議会では、西浦和駅周辺のまちづくりをこれ以上停滞させないよう、協議会の前身であるまちづくり検討会で作成した『夢あふれる街「西浦和」まちづくり憲章草案』をベースに、これからの西浦和駅周辺のまちづくり検討を進めています。

1. 西浦和駅周辺まちづくりビジョン(協議会案)とは

「西浦和駅周辺まちづくりビジョン(協議会案)」は、平成28年度に協議会で取り組んだ全4回のワークショップにおける意見・アイデアを基に、西浦和駅周辺の将来のまちづくりの目標や姿、実現したいまちづくりの方向性などについて取りまとめたもので、今後市と住民が協働で策定していく「西浦和駅周辺まちづくりビジョン」の基となるものです。

2. 協議会案の構成(裏面参照)

【将来像～夢あふれる街「西浦和」～】

- 地区のまちづくりに取り組んでいくための、目標や目指すべき姿

【取り組みの方向性】

- 地区の将来像や目標の実現に向けた、5つの視点からの取り組みの方向性
- ① **駅へのアクセス**
⇒ 桜区の玄関となる西浦和駅へ、来訪者などを安全・快適に迎えられるよう、アクセス性向上に向けた取り組みの方向性
- ② **まちの賑わい・活性化**
⇒ 多様な人々の交流で賑わう、活気あふれる拠点性・発信性を持った地区形成に向けた取り組みの方向性
- ③ **まちの安全性・快適性**
⇒ 地域住民等が安全・快適に暮らすことができる住環境の維持・改善に向けた取り組みの方向性
- ④ **地域資源との連携**
⇒ 荒川沿いの自然の恵みなどを活かした都市観光を呼び込めるよう、地域資源と連携した取り組みの方向性
- ⑤ **周辺地域との連携**
⇒ 新たな人との交流を生む産業集積拠点の検討や田島団地の建替えなど、周辺のまちづくりと連携した取り組みの方向性

3. 検討の範囲

西浦和駅周辺の3地域(土地区画整理事業にとらわれない「実現性のあるまちづくりを目指すエリア」、および隣接する「田島団地」や「産業集積拠点検討エリア」)のうち、実現性のあるまちづくりを目指すエリアを対象エリアとして検討しました。



4. 検討の経緯

○市民の意見や提案等を集約し、「まちづくりビジョン(協議会案)」を作成することを目的に、西浦和駅東西地区まちづくり協議会で、全4回のまちづくりワークショップを開催しました。



**第1回
ワークショップ**
地区の現況及び課題について意見交換や情報の共有

**第2回
ワークショップ**
地区の主な課題についての改善策や方向性の案について意見交換

**第3回
ワークショップ**
まちづくりの取り組み方針と地域・住民が協力できることについて意見交換

**第4回
ワークショップ**
西浦和駅周辺まちづくりビジョン(協議会案)と今後の活動について意見交換

西浦和駅周辺まちづくり
ビジョン(協議会案)作成

西浦和駅東西地区まちづくり協議会では西浦和駅周辺のよりよいまちづくりに向けた検討を進めており、昨年度は「西浦和駅周辺まちづくりビジョン(協議会案)」をまとめました。

このたび、西浦和駅周辺にお住まいの方や駅利用の方、地区内に土地・家屋の権利をお持ちの方へ、このまちづくりビジョン(協議会案)の内容をご紹介します、ご意見やご提案などをいただきたく、説明会を開催することとなりました。

これからの西浦和駅周辺のまちづくりをみなさまと一緒に考え、「西浦和駅周辺まちづくりビジョン(市民案)」を作成していきたいと思っておりますので、ぜひ多くの方のみなさまのご参加をお待ちしております。

日時

- 1回目：平成29年12月1日(金) 午後3時～(開場 午後2時半)
- 2回目：平成29年12月1日(金) 午後7時～(開場 午後6時半)
- 3回目：平成29年12月2日(土) 午後3時～(開場 午後2時半)
- 4回目：平成29年12月2日(土) 午後7時～(開場 午後6時半)

※各回とも同じ内容で開催します。
ご都合のよい日時にご来場ください。

西浦和駅周辺のまちを歩いてみませんか!

住んでいるまち、働いているまち、学んでいるまち、遊びにくるまち、いつもそこにある西浦和駅周辺のまち。そんなまちをゆっくり歩いて、色々なまちの顔を発見し、みなさまの気づきをこれからのまちづくりに活かしていきませんか!

西浦和駅周辺まち歩き参加者募集!

- 日時：平成29年11月10日(金) 11月11日(土) 両日10時～12時 雨天中止
- 集合：午前9時30分 田島公民館集合
※直接集合場所へお集まりください。公共交通機関をご利用ください。
- 費用：無料



問い合わせ先

西浦和駅東西地区まちづくり協議会
連絡先：NPO法人 さいたま都市まちづくり協議会内
さいたま市桜区田島5-20-24 FC21ビル 3階
電話 048-838-8375
西浦和駅周辺のまちづくり担当 深井 康夫 <http://www.saitama-npo.jp/kyougikai/>

お問い合わせ、ご意見はこちらまで



西浦和駅周辺 まちづくりビジョン (協議会案)

説明会 のご案内



場所

場所：田島公民館2階(4回共通)



※公共交通機関をご利用ください。

西浦和駅周辺まちづくりビジョン (協議会案)

～夢あふれる街「西浦和」～

《自然の恵みと共に》

荒川へのアクセス拠点として荒川ぞいの自然の恵みを活かすまち

《拠点性や発信性》

ゆとりや潤いの中に産業・文化の創造と活気が溢れるまち

《多様な交わりと和》

利便な立地を活かした交流が資源となるまち

《参画・参加機会の創出》

あらゆる世代が活躍でき地域を豊かにするまち

《アイデンティティのさくら草・獅子舞》

桜区の顔となる個性的でたおやかな景観のまち

《安心・安全なまち》

防災や防犯に気を配れるまち

◆まちづくりの取り組みの方向性

《地区全体に関わる方向性》

○道路ネットワークの充実と安全性等の向上

- ・幹線道路網の整備
- ・適切な交通規制の導入などによる利便性・安全性の向上（一方通行化、抜け道対策等）
- ・バリアフリーに配慮した道路空間の整備
- ・水路を活かした遊歩道整備
- ・雨水排水が適切にできるよう改善

○バス機能の充実

- ・バスシステムの充実
 - ・西浦和駅～浦和駅
 - ・西浦和駅～区役所～埼玉大学 など
- ・コミュニティバスの運行ルート見直しと増便

○防災性の向上

- ・地区全体に対して避難場所として利用できる公園の適切な配置
- ・周辺地区との連携による災害時拠点づくり
- ・防災マップ等の周知徹底
- ・地域住民同士の連携

○まちの賑わい・活性化

- ・定期的なまつりやイベントの開催

○地域資源を活かしたまちづくり

- ・まちなかに花壇や店先休憩所など、さくら草を活かした空間作り
- ・市民レベルでの活動をはじめとした総合的な取り組みによるブランド化

(A) 駅から地域資源までのアクセス性向上

- ・安全な歩行空間の整備
- ・案内看板の設置
- ・臨時バスやレンタサイクルの活用
- ・サイクリングロードの整備
- ・(仮称)さいたまウエストパーク構想との連携

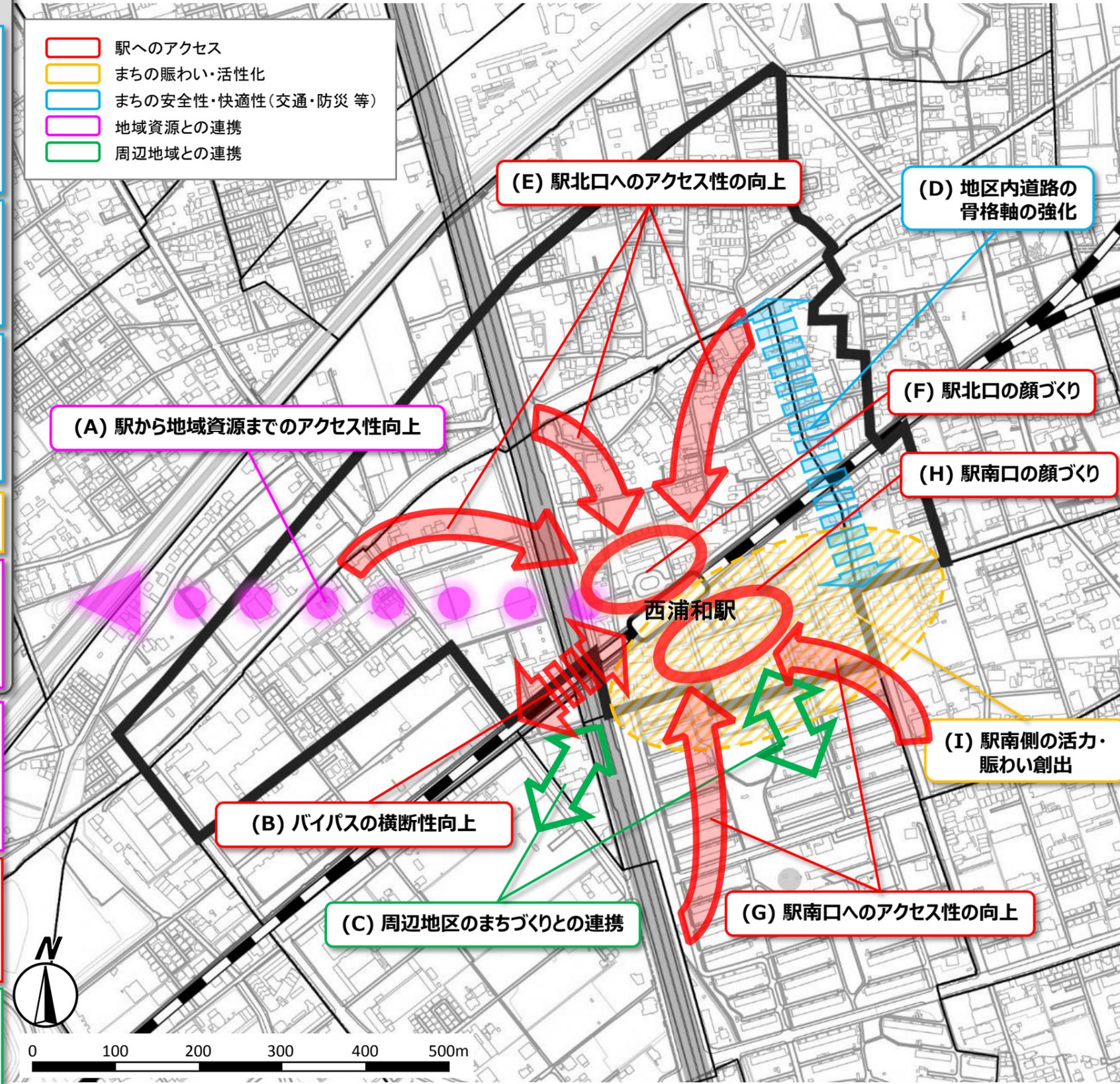
(B) バイパスの横断性向上

- ・デッキ・地下道などによる横断性向上と歩行者と自動車に配慮した安全性向上
- ・バイパス西側に駅改札口の設置
- ・鉄道高架下の活用

(C) 周辺地区のまちづくりとの連携

- ・田島団地建て替えと一体となった周辺整備
- ・雇用創出のための産業集積拠点などバイパス西側のまちづくりとの連携

- 赤線 駅へのアクセス
- 黄線 まちの賑わい・活性化
- 青線 まちの安全性・快適性(交通・防災等)
- 紫線 地域資源との連携
- 緑線 周辺地域との連携



(D) 地区内道路の骨格軸の強化

- ・田島大牧線～大谷場高木線を結ぶ主要区画道路の整備
- ・消防活動困難地域を解消するために道路幅員を拡幅

【駅北側の取り組みの方向性】

日常生活のための都市基盤を改善するとともに、既存の住環境を守る

(E) 駅北口へのアクセス性の向上

- ・通勤時などに駅へ徒歩でアクセスしやすい直線的道路の整備
- ・駅にアクセスする未整備の都市計画道路(西浦和北口停車場線)を見直し、既存道路で代替できるよう機能強化

(F) 駅北口の顔づくり

- ・地域住民や駅利用者の通勤通学等の日常生活の玄関口として利便性を高めつつ、都市観光の玄関口として周辺の地域資源へのアクセス性を高める。

【駅南側の取り組みの方向性】

日常生活の活力を支えるとともに、エリア外からの来訪者を迎える地区の顔として拠点を形成

(G) 駅南口へのアクセス性の向上

- ・車両によるアクセス機能の充実
- ・駅にアクセスしやすい空間づくり

(H) 駅南口の顔づくり

- ・地域への来訪者をもてなすことのできる玄関口として利便性を高めると共に、周辺地域とを結び出発・帰着地として、商店街と合わせて魅力を向上する

(I) 駅南側の活力・賑わい創出

- ・安全に買い物ができる道路の整備
- ・地図や看板の設置
- ・観光案内や地元産野菜などを販売できる空間づくり
- ・子供や高齢者などが遊んだり休憩できるような、人が集まることができ場所の確保や仕掛けづくり
- ・空き店舗等を活用したコミュニティづくり

